

バイオロジクスフォーラム第6回学術集会 プログラム

日時： 2009年2月3日（火曜日）10:20 - 17:30（受付開始予定 9:50）

場所： 日暮里サニーホール（JR・京成 日暮里駅、徒歩1分）

会費： 一般企業の方：5000円、大学／公的機関の方：2000円、学生：無料（定員300名）

「バイオ医薬品の開発展望」

10:20 - 10:30 バイオロジクスフォーラム開会挨拶 早川堯夫 代表世話人（近畿大学薬学総合研究所）

10:30 - 11:50 「バイオ後続品の品質・安全性確保－様々な立場から」

座長：川西 徹（国立医薬品食品衛生研究所）

- バイオ後続品の品質・安全性・有効性確保のための要件 山口照英（国立医薬品食品衛生研究所）
- バイオ後続品の品質・安全性確保－先発品開発企業の立場から 越智教道 先生（中外製薬㈱）
- バイオ後続品の品質・安全性確保－IFPMAの視点 酒井喜代志 先生（持田製薬㈱）
- 討 論

11:50 - 13:00 昼 食 ・ 休 憩 （世話人会）

13:00 - 15:40 「抗体医薬品の現状と臨床」

座長：池田康夫 先生（慶應義塾大学）・山口照英（国立医薬品食品衛生研究所）

- 抗体医薬品の承認状況と開発動向 川崎ナナ（国立医薬品食品衛生研究所）
- 造血器腫瘍の治療からみた抗体医薬品 池田康夫 先生（慶應義塾大学）
- 抗体医薬の臨床経験と今後への期待－乳癌－ 岩田広治 先生（愛知県がんセンター中央病院）
- 固形腫瘍に対する抗体薬の現状と課題 佐々木康綱 先生（埼玉医科大学）
- 生物学的製剤を用いた関節リウマチの関節破壊阻止戦略とその問題点 宮坂信之 先生（東京医科歯科大学）
- 討 論

15:40 - 15:55 休 憩

15:55 - 17:30

「バイオ医薬品のICH動向と品質に関する規制を考える－我が国のバイオ医薬品開発のこれから」

- 改めてバイオロジクスにおける品質とは 早川堯夫 先生（近畿大学薬学総合研究所）
- バイオ医薬品の原薬開発と製造 古賀淳一 先生（武田バイオ開発センター㈱）
- 討 論

17:30 閉会挨拶